

山科教会ニュース

2026年3月 第421号

私たちは天の国の市民です

春が近づくと、教会の近くでは朝、泣きながら「いやー！」とだだをこねる声が聞こえてきます。教会のすぐ隣にあるアヴェ・マリア幼稚園に入りたての園児たちが、両親と離れたくなくて大声で泣いているのです。慣れ親しんだ家を離れ、見知らぬ場所へ行かなければならない子どもたちの姿を見ると、少し切ない気持ちになります。同時に、いつか私たちも同じような姿を見せる日が来るのではないかと黙想させられます。

幼稚園の子どもたちに神様やイエス様、聖母マリアのお話をすると、ときどきこんな質問を受けます。「イエス様、マリア様は、今どこにいるの？」話を聞いている子供たちの中には、家族やペットとの別れを経験した子もいますが、多くはまだ幼く、どう答えれば良いのか少し困りました。考えているうちに、ふと葬儀ミサのアレルヤ唱の一節が思い浮かびました。

『アレルヤ、アレルヤ。私たちの国籍は天にあります。

そこから来られる救い主、主イエス・キリストを待ち望んでいます。アレルヤ。』

そして、質問した子に次のように答えました。

「私たちはみんな、お母さんのおなかの中から生まれてきたけれど、その前はどこに居たと思う？私たちは天の国に住んでいたんだよ。今はしばらくこの地球に来ているけれど、いつかまた天の国に帰らなければならぬんだ。家に居た子が幼稚園に少しの間来て、また家へ帰るように、私たちはいつかイエス様とマリア様のおられる天の国へ帰って行くんだよ。」

今日の福音は、祈るために山に登られたイエス様と三人の弟子の物語を伝えています。

山に登られる前、イエス様はご自身の受難と復活の予告とともに、十字架を担って従うよう弟子に教えられました。主の栄光の変容を目の当たりにした弟子たちは、予告された受難や十字架よりも、目の前の栄光に満ちた瞬間に留まりたいと願ったことでしょう。

しかし、イエス様は天の国へ戻られる前に、十字架の犠牲を通して、罪のゆるしとまことの愛を私たちに与えようとなさいます。それは、慣れ親しんだ環境や自分の望む場所、ただ留まっていたい場所を離れ、十字架へと向かう旅路なのです。

皆さん、私たちは天の国の市民です。神様から命を受け、今はこの世で時に忙しく、時に安らかに暮らしています。しかし、いつか私たちは皆、再び天の国へ帰らなければなりません。その時がいつかは分かりませんが、その日に泣き叫びながら「いやー！」とこねる姿ではないことを願います。

そのために、私たちは一歩ずつ、十字架へ向かう旅を始めなければなりません。

私たちは、もしかするとペトロのように漠然とした見知らぬ旅立ちよりも、今この瞬間の栄光に留まりたいと思うかも知れません。しかし、主ご自身が先にこの道を歩まれ、この十字架の旅の終わりに復活があることを示してくださいました。

希望をもって天の国への旅路に出発しましょう。天の国には、星のように多くの方がいて、私たちの巡礼を応援してくださっていることを心に留めましょう。

司祭 ソ・ウォンハ

2月のトピックス

●小教区(山科教会)評議会総会

2月1日(日)ミサ後、小教区(山科教会)総会を行いました。

2025年度活動報告と決算報告、2026年度予算と行事予定の報告、新年度の役員・評議員の方々のご紹介とご挨拶がありました。

2026年度役員・評議員のご紹介

2026年度の役員・評議員・各担当は次の皆様です。(敬称略、(新)は新任)

役員:西平美貴、山田容三、松永昌子、栗花落 光/典礼部長:満永くみ子(新)/庶務部長:井關博喜
/広報部長:井關美由紀(新)/教育部長:森坂亜希(新)/施設管理部長:西平 裕/財務部長:和田 徹
/聖母会会長:鶴田尚美/アヴェ・マリア幼稚園園長:中西朋美/ガールスカウト代表:西平美貴
/会計監査:高以来眞由、井保享子/洛東ブロック宣教司牧評議会担当:井關博喜

※総会での報告資料を、聖堂後方テーブルに置いてありますので、各ご家庭一部づつお持ちください。



●病者の日ミサ

2月11日は『世界病者の日』で、山科教会では2月8日(日)のミサを「病者の日ミサ」とし、ソ神父様の司式のもと、病気や不慮の災害に苦しむ人々のために祈りました。

翌週の主日ミサでは、洛東ブロックの各教会で作成した共通の共同祈願を唱えました。



●灰の水曜日

2月18日(水)、ソ神父様の司式により『灰の水曜日』ミサが行われ、ミサに参加した一人ひとりが、灰を頭に受けました。

「灰を受ける」とは、自分が弱い存在であり、神様の助けを必要としている、悔い改めているということを表わす印とされています。



『評議会』からのお知らせ

<洛東ブロック司牧チームからのお知らせ>

☆神父様ご不在の連絡

ソ神父様は、3月20日(金)から22日(日)の間、京都教区中高生広島平和巡礼随行のため不在となります。
3月20日(金)の週日ミサはありませんが、『十字架の道行』は午前9時30分から行います。

<役員会、評議会からのお知らせ>

☆十字架の道行

2月20日(金)から3月27日(金)の間、四旬節中の金曜日に、週日ミサ後『十字架の道行』を行なっています。ご都合の付く方は、是非ともご参加ください。

☆レクチオ・ディヴィナをお休みします

四旬節中の毎金曜日、週日ミサ後に『十字架の道行』を行うため、レクチオ・ディヴィナはお休みします。
4月10日(金)から再開します。

☆洛東ブロック 各小教区の黙想会

洛東ブロック各小教区の『四旬節黙想会』の予定です。山科教会以外の黙想会にも参加できます。

河原町教会	2月21日(土)	講師:一場神父様	〈開催済み〉
伏見教会	3月1日(日)	講師:和田神父様	
桃山教会	3月8日(日)	講師:一場神父様	
北白川教会	3月15日(日)	講師:一場神父様	

山科教会の『四旬節黙想会』は、3月1日(日)、講師に菅原神父様をお迎えして開催します。ゆるしの秘跡の後、伝道館で菅原神父様を囲み茶話会を行いますので、多数お集まりください。

☆聖週間とご復活祭

3月29日(日) 受難の主日(枝の主日)	午前9時	ナン神父様
4月2日(木) 聖木曜日・主の晩さんの夕べ ※洗足式、聖時間は行ないません。	午後6時	ソ神父様
4月3日(金) 聖金曜日・主の受難	午後6時	シスター テッシー
4月4日(土) 復活の主日 復活の聖なる徹夜祭 ※ミサが始まる前(午後5時30分以降)に看板を設置します。	午後6時	ソ神父様
4月5日(日) 復活の主日 日中のミサ ※日中ミサ後、パーティーがあります。多数お集まりください。	午前9時	ソ神父様

☆ワックス掛けのお知らせ

3月28日(土)、聖堂のワックス掛けを行います。この日は終日、聖堂内に立ち入ることができません。

☆京都教区 侍者合宿

3月30日(月)～4月1日(水)、西院教会におきまして、『京都教区 侍者合宿』が行われます。

新小学4年生から6年生、新中学1年生が対象です。申込み締切は3月16日(月)ですが、先着30名で締切りとなりますので、希望される方はお早めにお申し込みください。詳しくは掲示のポスターをご覧ください。

★ 山科教会からの「お知らせ」は、毎週日曜日に更新されます。聖堂内のボードに掲示すると共に聖堂後方のテーブルにも置いてありますのでお持ち帰りください。

最新の情報は山科教会ホームページ(<http://www.cyamach.sakura.ne.jp>)をご確認ください。

京都司教区のホームページ(<https://kyoto-catholic.net>)もご参照ください。

2026年3月の予定

日	曜日	教会暦	行事予定	※都合により日程及び時間の変更もあります	
1	日	四旬節第2主日	主日ミサ 9:00	菅原神父様	黙想会、日曜学校 ミサ後
2	月				
3	火		週日ミサ 9:30	ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
4	水				
5	木				
6	金		週日ミサ 9:30	ソ神父様	十字架の道行 ミサ後 レクチオ・ディヴィナ 休みます
7	土				
8	日	四旬節第3主日	主日ミサ 9:00	ソ神父様	部会、日曜学校 ミサ後
9	月				
10	火		週日ミサ 9:30	ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
11	水				
12	木				
13	金		週日ミサ 9:30	ソ神父様	十字架の道行 ミサ後 レクチオ・ディヴィナ 休みます
14	土				役員会 16:30、評議会 18:00
15	日	四旬節第4主日	主日ミサ 9:00	ナン神父様	日曜学校 ミサ後
16	月				
17	火		週日ミサ 9:30	ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
18	水				
19	木				
20	金		週日ミサ ありません		十字架の道行 午前9時30分 レクチオ・ディヴィナ 休みます
21	土				役員会 16:30
22	日	四旬節第5主日	主日ミサ 9:00	ナン神父様	日曜学校 ミサ後
23	月				
24	火		週日ミサ 9:30	ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後
25	水				
26	木				
27	金		週日ミサ 9:30	ソ神父様	十字架の道行 ミサ後 レクチオ・ディヴィナ 休みます
28	土				
29	日	受難の主日 (枝の主日)	主日ミサ 9:00	ナン神父様	全員清掃、日曜学校 ミサ後
30	月				
31	火		週日ミサ 9:30	ナン神父様	聖書を学ぶ会 ミサ後

◆ミサ開式中は、中央の通路には立ち入らないでください(朗読、奉納、聖体拝領時を除く)。

◆主日ミサ終了後、5分間「聖歌練習」を行います。

四旬節愛の献金

日本のカトリック教会では、虐げられ、差別され、見捨てられ、いのちの危険にさらされている人たちとの共感を大切にするよう一人ひとりに訴えるとともに、四旬節中の「愛の献金」を奨励しています。

「愛の献金」は、カリタスジャパンを通して海外諸国と日本各地に送られ、難民や孤児、貧困、失業、飢餓などに苦しむ、多く人のいのちを守るために、また彼らの自立を助けるために使われます。

発行責任者

河原町・伏見・山科・桃山・北白川
共同宣教司牧洛東ブロック司牧チーム

編集：カトリック山科教会 広報部

住所：〒607-8415

京都市山科区御陵中筋町3

TEL：075-581-0719

FAX：075-581-0760